



1



2

主題設定の理由

<JRC態度目標>
気づき、考え、実行する

<群馬県教育ビジョン>
自分で考えて、
自分で決めて、
自分で動き出す

<学校経営スローガン>
やってみる、
そして考える

3

主題設定の理由

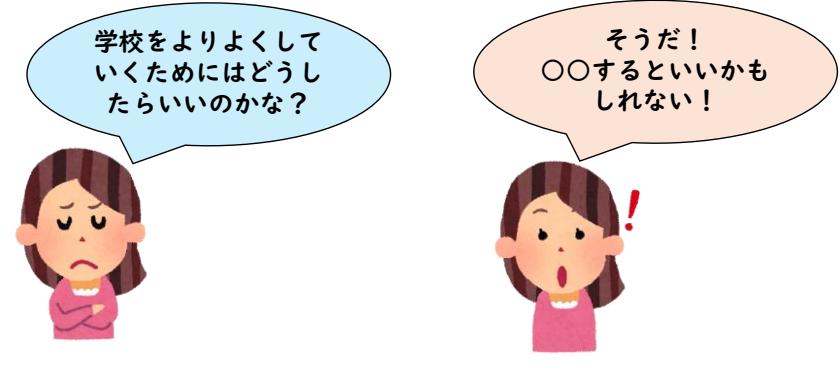
社会や人のために
尽くす責任

仲良く助け合う
精神

4

1

主題設定の理由



5

思いやりの心を持ち、
自ら気づき・考え・実行する生徒の育成
～青少年赤十字活動の実践を通して～

6

研修内容及び方法

- ①一人一授業を実践し、生徒が主体的に学習に取り組む授業づくりをする。
- ②道徳や学級活動、行事を通じていのちと健康を大切に地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を生徒たちに育成する。
- ③生徒会活動を通じて、生徒たちが学校や地域における課題に気付き、その課題を解決するための方法を考え、実行させる。

7

実践の概要（一人一授業）



8

2

理科

学習活動：全身を映すために必要な鏡の長さを求める。

生徒の誰もが予想をもち、結果の見通しをもちながら実験に臨むことができた。

班ごとに協力して意欲的に実験に取り組む姿が見られた。



9

技術

学習活動：トマト栽培による自己評価と生物育成の技術を活用したトマト栽培のメリット・デメリットを含めた解決策を考える。

外部講師を活用したことで専門的な立場でアドバイスしてもらうことができた。

話し合う視点を明確にしたことで課題や解決策について話し合うことができた。



10

社会

学習活動：北海道地方の自然環境や生活・文化について調べる活動を通して、北海道の魅力についてまとめる。

生徒一人一人の意見を、視覚的に分かりやすく提示することができた。

調べた内容をスライドにまとめることでスムーズに意見交換できた。



11

実践の概要（専門委員会）



12

生徒会本部



気づき

- ・生徒同士の人間関係が固定化されてしまっている。

考え



- ・生徒会レクリエーションを通して全校生徒の親善を深めることともに、誰とでも話すことのできる力を身につけることができる。



実行する

- ・生徒会本部役員で準備し、全校レクリエーションを実施した。

13

給食委員会



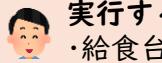
気づき

- ・配膳用の給食台や机が汚れている。

考え



- ・毎日使用する物なので特にきれいに使用したい。
- ・当番が気持ちよく活動できる環境にしたい。



実行する

- ・給食台の清掃をする。

14

生活安全委員会



気づき

- ・アルミ缶回収を行っていることがあまり周知されていない。



考え

- ・アルミ缶回収を行っている旨を記載したチラシを作成し、回覧板などで呼びかける。



実行する

- ・アルミ缶回収に関するチラシを作成し、長野原町の回覧板で地域に周知を行った。



15

整美委員会



気づき

- ・学校の花壇が寂しい。



考え

- ・毎年春になると花壇にどんな花が咲いているか、球根で咲く花はどんな花があるのか調べた。



実行する

- ・春に咲くチューリップの球根を植えた。

16

図書委員会



気づき

- ・図書室の利用者が少ない。



考え



- ・図書室の利用を促すポスターを作成する。
- ・図書委員がおすすめの本を紹介する。

実行する



- ・図書室の利用を促すポスターを作成し、廊下に掲示した。
- ・図書委員のおすすめの本のコーナーを設置した。

17

放送委員会



気づき

- ・赤い羽根共同募金に多くの人たちが協力してほしい。



考え

- ・全校生徒に放送で呼びかける。



実行する

- ・朝の放送で赤い羽根共同募金の協力のお願いをした。

18

保健委員会



気づき

- ・教室の空気が乾燥している。
- ・インフルエンザが流行ってきた。



考え

- ・加湿器を使用する。
- ・教室の空気を入れ換える。



実行する

- ・加湿器の準備・手入れをして、乾燥を防ぐ。
- ・教室の換気を休み時間ごとに行う。

19

避難訓練を自分事化

生徒、職員が自分事として気づき、考え、実行するにはどのようにしたらよいかな？

20



21



22



23



24

避難所開設 訓練



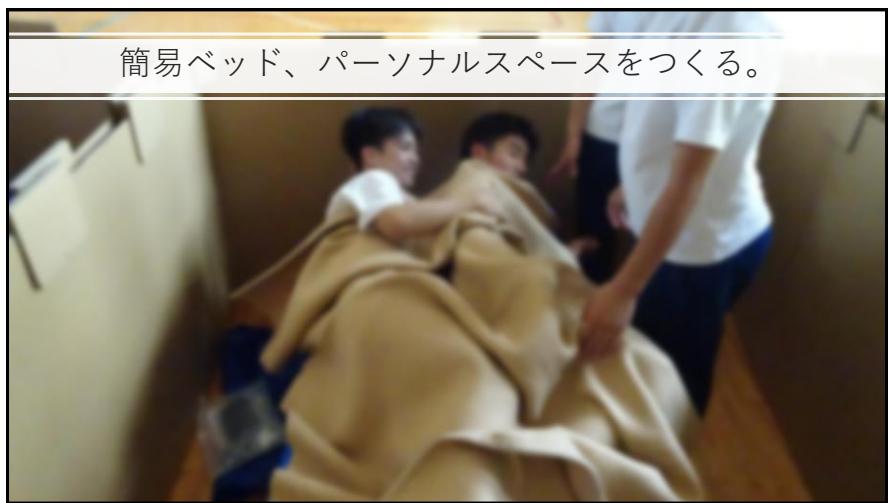
25

避難所になった場合、私たちができる
ことは？



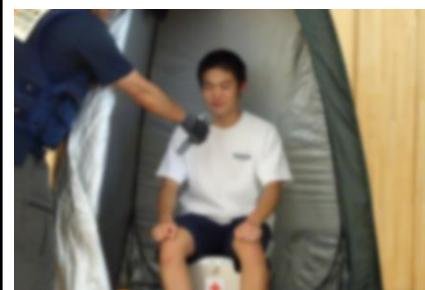
26

簡易ベッド、パーソナルスペースをつくる。



27

簡易トイレの使用方法を学ぶ



28

炊き出し訓練



29

海外交流モンタナ州リビングストンの生徒たちに日本（長野原町）のよさを伝えよう。



30

アメリカの中学生と楽しく交流するため自分たちで接待を考える。



31

3年生は日本のお祭りを再現



32

2年生は七夕の紹介とレク



33

1年生はモルックで交流



34

柔道体験の手伝いをする



35

成果

- ・授業の中で生徒に自己決定をさせたり、生徒同士の対話・交流場面を増やしたりしたことで、主体的に学習に取り組む生徒が増えた。
- ・各専門委員会で本校における課題について話し合い、その課題を改善する取組を生徒主体で行ってきたことで、能動的に委員会活動に取り組む生徒が増え、自分たちの力で学校をよりよくしていく喜びを実感することができた。
- ・行事において受け身がちだった意識から自分事として捉えるようになり、自分たちでもできることを進んで行うようになった。

36

課題

- ・授業中や行事企画の意見交流の場面では、ただ意見を交流させるだけでなく、交流したことで更に思考を深め、自分から進んで行動できるようにしたい。実践推進指定校が終了しても「気づき・考え・実行する」ことを意識して自分のため、他人のため、地域のため実践していく指導を継続していきたい。

37

令和6・7年度 群馬県青少年赤十字実践推進指定校



長野原中学校

38